

海軍精神ヲ注入ス

我  
ア  
キツ  
丸

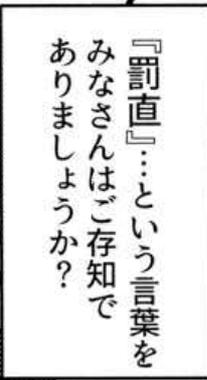
—ねこめたる—

向成  
け人





あきつ丸であります



『罰直』…という言葉を  
みなさんをご存知で  
ありましようか？



自分のような  
不甲斐ない部下に対する  
上官殿の愛の鞭――



それが『罰直』であります



あきつ丸！



何をポ〜っと  
しているのですか！  
あきつ丸！



コッ  
コッ



ウッ



おい  
あきつ丸



反省を促すための罰直中に  
また失敗してりや世話ねえな



…これで  
何回目の失敗だ？

返す言葉も  
ないであります

…申し訳ありません  
かあります…



来い  
その甘ったれ根性を  
叩き直してやる

口だけの反省なら  
もう充分だ



全て自分の  
未熟の致すところ  
面目…

『面目次第も  
ありません』  
…ってか？



はい…



なに!



提督殿…?



こんな大きなモノ  
自分はどうすれば…

綺麗にするんだ  
舌を使って丁寧にな



舌

舐める

ひくうっ…!!

お…きい…



でも  
提督殿の命令に  
逆らうことなど…

おん…



そうだ！  
イイぞ！  
あきつ丸！

く... 苦しい

濃密な雄の匂いと...  
巨大なイチモツに  
喉の奥まで蹂躞されて  
息ができない！



...舌使いが甘い  
もっと筋の裏を  
包み込むように！

むせ返るような  
提督殿の匂い！



...っ！  
イクぞ!!



...どうして  
自分はこんなに  
感じるのか...  
ありましようか...



飲め!!

でも...  
でも!

んんんん!!



次は  
そのだらしなく  
弛んだ乳を使え

はっ…はいっ  
こうでありまふか

下手糞が  
唾液を絡めて  
乳で包み込む  
ようにしごけ

たろ♡♡

提督殿のモノが  
また一段と大き  
なっている…

はっ  
はっ



こ…こんな感じで  
あひまふおふか？

…っ！  
やればできる  
じゃないか

じゅわん  
じゅわん

はっ  
はっ  
はっ  
はっ  
はっ  
はっ

次は…そうだな  
乳首で奉仕して  
もらおうか

あう…  
そこは…

そうだ  
そのはしたなく  
盛り上がった乳首に  
こすりつけて奉仕しろ

あう…  
あう…  
罰直でこんな淫らに  
感じてしまつ…あつ♡  
あ…あきつ丸はあ…♡

あつ…ああつ♡  
今の敏感乳首に  
その命令は…!!

出すぞツ!







おまんこビリビリっ…  
気持ちよすぎる  
でありますああああ♡

あつ…! ふあああああ!!  
だつ…ダメでありますうう♡



反省してるなら  
自分のカラダで  
証明してみろよ



わかるよな?



頭のなかまで  
ビリビリしてっ

ああつ♡



だらしない  
メス顔しやがって…  
俺も興奮してきたぞ



おしりのなかも  
一緒にビリビリ  
すごすぎてっ…!!







淫らに蕩けた  
そのメス穴で  
しっかり  
受け止めるよ

今からお前に  
挿入てやる

海軍精神  
注入棒だ

い  
お  
あ

あ

あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ



アツキヤ

アツキヤ

んぐううッ♡



こっちに  
尻を向ける

りよ…了解で  
ありま…あッ!



提督…殿つ  
す…みませ…  
も…少し優し…



ああ!

誰が口答えして  
いい…つった?



ッ



感じてしまっ  
ているのでしょ  
うか♡

アツク

自分は…っ  
自分は…っ♡

あ

どうして…  
手を拘束されて…

脚をこんなに広げた  
破廉恥な格好を  
させられているのに…

ズク

ズク

あああ♡  
あああ♡

すこ…すぎっ…♡  
提督殿の精神注入棒っ♡

子宮の奥っ  
貫かれて…っ♡  
あたまのなか…  
まっ…しろに…っ

ズク

ズク

ズク

ズク

ズク



さつきからずっと  
ギユウギユウ  
締めつけやがって

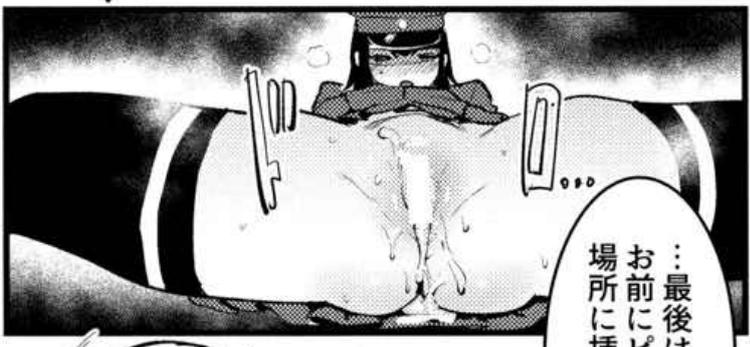
それなら  
お望み通り

俺のモノを  
すっぱり奥まで  
啜えこみやがって！  
本当に淫乱な  
艦娘だなお前は！！

ふうっ♡  
ズッ♡

んぐっ♡  
ズッ♡

ふぐっ♡



…最後は  
お前にピッタリな  
場所に挿入するぞ



はっ

はっ



たっぷり膣内に  
射精してやるよ！！

ズッ♡





あ…っ

山崎の



いいだろう…

お前はもう俺のモノなんだから



あきつ丸！  
いい顔してるぞ  
ここに来た時とは  
見違えるほどな！

なんでだろう…  
罰直の最中だけは  
自分が自分でなくなつて  
しまうようで…

ズン  
ズン

ズン  
ズン

ズン  
ズン

ズン  
ズン



いけれど…なぜか…  
いつもの自分ではない自分でいられるのは  
…とても幸せな気持ちなのであります…



あきつ丸…

て…  
提督どの…  
くちづけを…  
くちづけをしたい  
であります…っ!



提督殿…  
提督殿っ!

わかってる!  
俺もイクぞッ!







…また大破して  
しまったであります



はあ

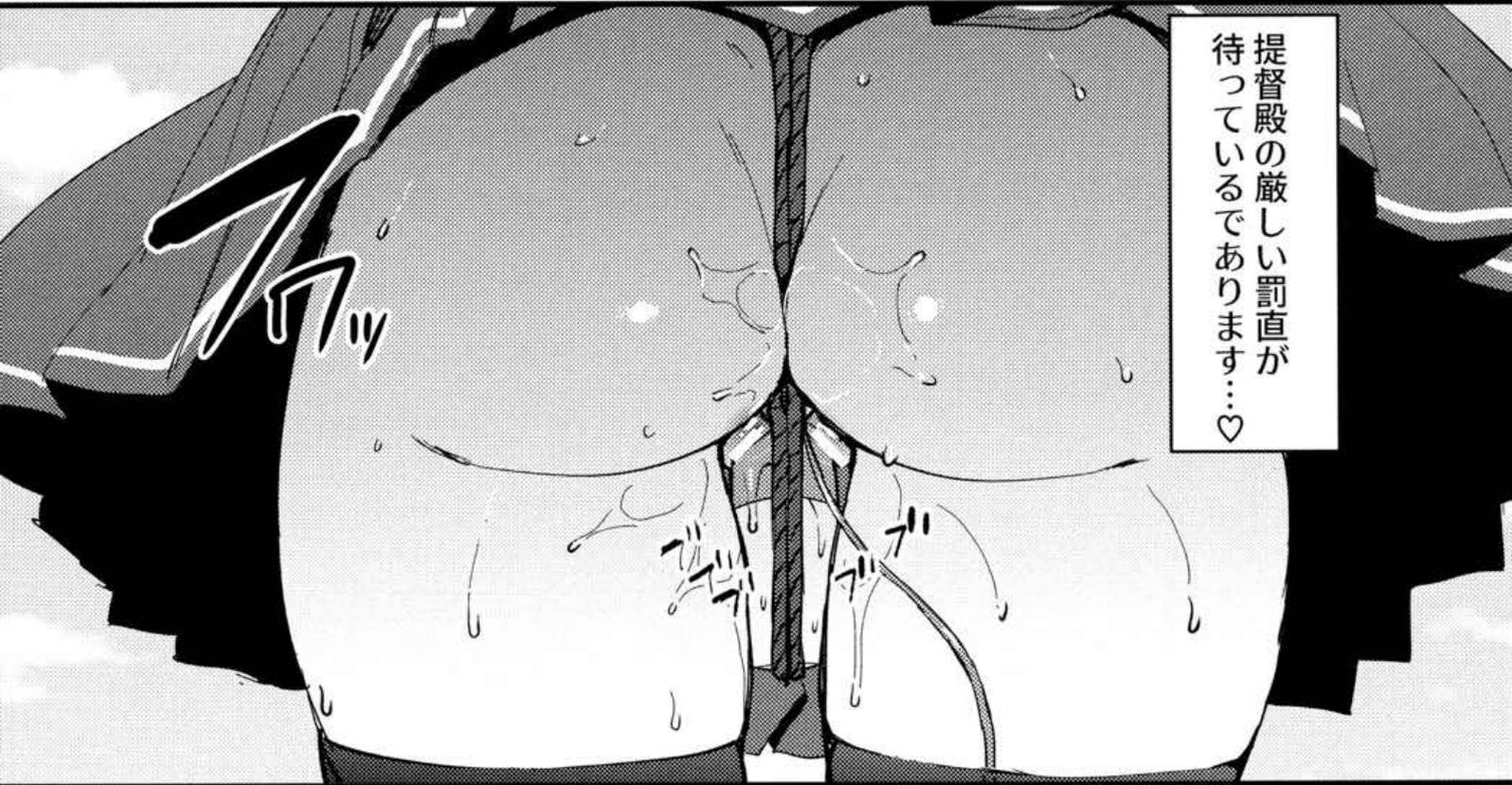
はあ  
はあ



これで  
今夜もまた



でも…



提督殿の厳しい罰直が  
待っているであります…♡

END

こんにちは！ねこめたるです  
この本をお手にとってここまで見てくださった方  
ありがとうございます

以前からあきつ丸描きたかったので、  
今回描けてとても嬉しかったし楽しかったです  
深海勢といい自分は白肌が好きなのだということがわかりました  
しかし、白肌をエロくするのがクソ難しくて苦戦しました  
でも描きたくなるんですよ！好きだけどいじめちゃうみたいなの(謎)

これからいろいろと落ち着くので、やりたかったことやってみたいこと  
創作やコミケに力を注いでいきたいと思っております  
思ってるだけなので実際はどうなるかはわかりませんが  
今後どうぞよろしく願いいたします(\*-\*)



 **SUN GROUP**  
<http://www.sungroup.co.jp/>

「我アキツ丸ニ海軍精神ヲ注入ス」  
印刷：ハイビジョン印刷  
発行：コミックマーケット90  
2016.8.14

ねこめたる  
twitter：@NekoMeta  
pixiv：http://www.pixiv.net/member.php?id=4221847  
HP：http://nekonekometaru.wixsite.com/necometa  
mail：nekonekometaru@yahoo.co.jp





我アキツ丸ニ海軍精神ヲ注入ス

合衆国ネタメコル

提督殿専用♡

